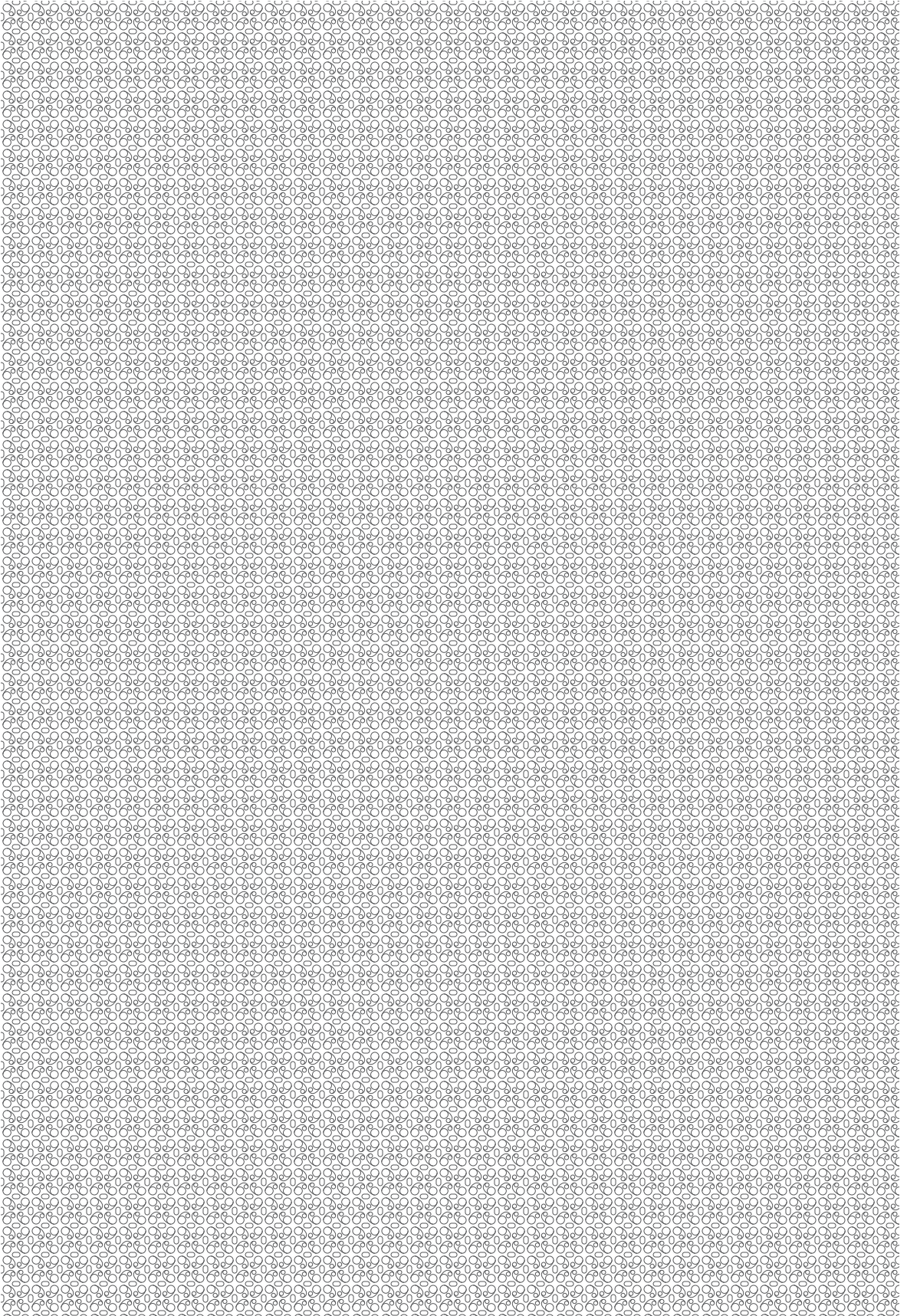


## 2026年度入学試験問題

# 世界史

(試験時間 13:15～14:15 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、マーク解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄にマークしてください。解答欄以外にマークすると無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、一度マークした箇所を修正する場合、しっかりと消してください。消し残りがあると、解答が無効となることがあります。また、消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入・マークしてください。未記入や記入・マークミスなどがあった場合は、当該科目の解答は無効となります。



## I 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(34点)

世界三大宗教とは、仏教・キリスト教・イスラーム教をさすとされる。これらの宗教は、世界各地に信者を持ち、社会や文化にさまざまな影響を与えている。

仏教は、古代のインドで生まれた宗教である。前6世紀頃、ガンジス川流域では都市国家が数多く形成されるようになり、社会が大きく変化して新たな思想や宗教が生まれた。悟りを開いてブッダ（仏陀）となったシャカ族の王子ガウタマ=シッダールタは、正しい実践の方法（八正道）によって生老病死という人生の苦から解脱できると説き、仏教の開祖となった。仏教は、保守的なバラモンの支配に不満を持つ王侯や商人の支持を受け、インド全域に広がっていった。インド最初の統一王朝であるマウリヤ朝の最盛期を築いた第3代の A は、征服活動で多くの犠牲者を出した反省から仏教への帰依を深めた。彼は、広大な帝国を統治する理念としてダルマ（法）を説き、その詔勅を刻んだ磨崖碑や石柱碑を各地につくらせた。また、セイロン島（スリランカ）への布教を行ったとされ、そこからさらに仏教は東南アジアへと伝えられることとなった。<sup>①</sup>紀元前後になると、仏教の改革運動が起こり、菩薩信仰を中心として衆生の救済を重視する大乘仏教が生まれた。1世紀に西北インドに成立したクシャーナ朝のもとで大乘仏教は保護され、クシャーナ朝の最盛期を築いた B は、第4回仏典結集を行った。この頃には仏像がつくられるようになり、ガンダーラ美術とよばれる仏教美術が発達した。大乘仏教は、ガンダーラ美術とともに中央アジアを経て東アジア世界へ広がっていった。<sup>②</sup>グプタ朝の時代には、インド東部にナーランダ僧院が建てられ、仏教教学の中心となった。<sup>③</sup>グプタ朝衰退後、インドにおける仏教は衰退へと向かい、やがてインド固有の宗教であるヒンドゥー教に吸収されることとなった。<sup>④</sup>

キリスト教は、ローマ支配下のパレスチナで生まれた宗教である。イエスは、ユダヤ教のパリサイ派を形式主義として批判し、神の愛と隣人愛や、神の国の到来が近いことを説いた。イエスはユダヤ教の祭司やパリサイ派に訴えられて十字架刑に処せられたが、イエスの死後にイエスが復活したという信仰が広がり、キリスト教が誕生し

た。キリスト教は使徒の伝道活動によってローマ帝国各地に広がっていった。しかし、唯一絶対神を信じるキリスト教徒は皇帝崇拝を否定したため、しばしば迫害された。このうち、⑤ ディオクレティアヌス帝の時代に始まる迫害は最大級のもつとされる。キリスト教は、313年のミラノ勅令によって公認され、392年にはローマ帝国の国教となった。一方、教義をめぐる論争が展開され、325年に開催された C によりアタナシウス派が正統教義と定められた。その後も論争は続き、431年の D によりネストリウス派が異端とされた。西ヨーロッパ中世世界では、⑥ 教皇を頂点とするローマ=カトリック教会が普遍的な権威を及ぼし、学問などの⑦ 文化もキリスト教の強い影響下におかれた。しかし、十字軍の失敗や各国での王権の伸張などを背景として教皇権は次第に衰えをみせるようになり、近世初頭には⑧ 宗教改革が開始されることとなった。

イスラーム教は、アラビア半島の E のクライシュ族出身のムハンマドによって創始された宗教である。ムハンマドは、唯一神アッラーの啓示を受けて預言者であると自覚し、アッラーへの信仰を説いた。しかし、故郷の有力者によって迫害されたため、622年に E から F へ移住し、イスラーム教徒の共同体（ウンマ）を成立させた。この出来事をヒジュラ（聖遷）という。その後、ムハンマドは630年に E を征服し、アラビア半島の大部分を勢力下におさめた。ムハンマドの死後、その後継者であるカリフの指導によって征服活動が行われた。第4代正統カリフのアリーの暗殺後に成立したウマイヤ朝では、カリフ位は世襲されるようになったが、これに反対する人々はアリーとその子孫のみがムハンマドの正統な後継者であると主張し、⑨ シーア派とよばれるようになった。これに対し、ウマイヤ朝を支持する多数派は、ムハンマドの言行（スンナ）に従うことを重視し、スンナ派（スンニー）とよばれるようになった。ウマイヤ朝のもとでも征服活動は続けられ、西は北アフリカやイベリア半島、東は中央アジアなど、アラビア半島以外にも⑩ イスラーム世界が拡大していくこととなった。⑪

【設問Ⅰ】  ・  に入る適切な人物名を選択肢(a)～(e)から1つずつ  
選びなさい。

- (a) チャンドラグプタ王
- (b) アショーカ王
- (c) ハルシャ王
- (d) アッティラ王
- (e) カニシカ王

【設問Ⅱ】  ・  に入る適切な語句を選択肢(a)～(e)から1つずつ選  
びなさい。

- (a) ニケーア公会議
- (b) コンスタンツ公会議
- (c) カルケドン公会議
- (d) エフェソス公会議
- (e) クレルモン宗教会議

【設問Ⅲ】  ・  に入る適切な都市名を選択肢(a)～(e)から1つずつ  
選びなさい。なお、同じ記号には同じ都市名が入る。

- (a) イエルサレム
- (b) バグダード
- (c) メッカ (マッカ)
- (d) ダマスクス
- (e) メディナ

【設問Ⅳ】 下線部①～①①に関する以下の問に答えなさい。

問1 下線部①に関連して、東南アジアにおける仏教の展開に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) タイ人最初の王朝であるラタナコーシン（チャクリ）朝では、上座部仏教が信仰され、仏教文化が栄えた。
- (b) エーヤワディー（イラワディ）川流域に建てられたビルマ初の統一王朝であるパガン朝では、上座部仏教が広まった。
- (c) 唐僧義浄の記録では、スマトラ島を支配したシュリーヴィジャヤで大乘仏教が盛んであったことが記されている。
- (d) 中部ジャワを支配したシャイレンドラ朝では、大乘仏教の石造寺院が建立された。

問2 下線部②に関連して、中央アジアや東アジアにおける仏教の展開に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) モンゴル高原を支配したトルコ系騎馬遊牧民のウイグルは、仏教やマニ教を受容した。
- (b) インドの影響を受けたチベットではチベット仏教が誕生し、黄帽派（ゲルク派）の最高指導者は16世紀からダライ=ラマの称号を用いた。
- (c) 中国では、漢代に西域を経由して仏教が伝来し、魏晋南北朝の時代には雲崗や竜門などの石窟寺院が造営された。
- (d) 李成桂によって建てられた高麗では仏教が国教とされ、仏教経典を集成した『大蔵経』が刊行された。

問3 下線部③に関連して、グプタ朝に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) グプタ朝は、北インドの大部分を統一したチャンドラグプタ2世の時代に最盛期をむかえた。
- (b) グプタ朝の都となったガンジス川流域のプルシャプラは、マウリヤ朝の時代にも都とされた。
- (c) 宮廷詩人のカーリダーサは、サンスクリット文学の代表作とされる『シャクンタラー』を残した。
- (d) 純インド的な美術様式であるグプタ様式が完成し、アジャンター石窟寺院の主要部分がつくられた。

問4 下線部④に関連して、ヒンドゥー教に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) ヴァルダマーナ（マハーヴィーラ）によって開かれ、禁欲的な苦行と徹底した不殺生主義を特徴とする。
- (b) 多神教の宗教で、世界保持者で万能の主宰者であるヴィシュヌ神や、破壊と創造の神であるシヴァ神を中心とする。
- (c) 2世紀頃までに完成した『マヌ法典』は、ヴァルナごとの権利や義務を規定し、ヒンドゥー教徒の間で影響力を持った。
- (d) サンスクリット語で書かれた二大叙事詩の『マハーバーラタ』や『ラーマヤナ』は、ヒンドゥー教の聖典ともされる。

問5 下線部⑤に関連して、ディオクレティアヌス帝に関する記述として正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) アクティウムの海戦で、プトレマイオス朝の女王クレオパトラと結んだアントニウスに勝利した。
- (b) 市民権を求めて同盟市が起こした同盟市戦争を鎮圧し、イタリアの全自由民にローマ市民権を与えた。
- (c) 軍隊を増強し、帝国を東西に分け、帝国の統治をそれぞれ2人の正帝と2人の副帝が分担する四帝分治制（テトラルキア）をしいた。
- (d) コロヌスとよばれる小作人に農地からの移動を禁止したほか、ソリドゥス金貨を創始して交易の安定をはかった。

問6 下線部⑥に関連して、教皇に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) グレゴリウス7世は、叙任権闘争に際してドイツ国王（のち神聖ローマ皇帝）のハインリヒ4世と争った。
- (b) レオ3世は、フランク王国のカールにローマ皇帝の帝冠を授け、「西ローマ帝国」が復活したとした。
- (c) 教皇権が最高潮に達したインノケンティウス3世の時代には、第4回十字軍が起こされた。
- (d) 聖職者への課税をめぐるフランス王フィリップ4世と争ったボニファティウス8世は、アナーニにおいて捕らえられた。

問7 下線部⑦に関連して、西ヨーロッパの中世文化に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 実在論と唯名論との間の普遍論争は、『神学大全』を著したウィリアム=オブ=オッカムによって集大成された。
- (b) 西ヨーロッパの知識人は教会用語のラテン語を共通語としており、ギリシアの古典やアラビア語の学術書はラテン語に翻訳された。
- (c) フランスのパリ大学、イギリスのオクスフォード大学やケンブリッジ大学は、神学で有名であった。
- (d) 11世紀頃には、半円アーチや厚い石壁などを特徴とするロマネスク様式の教会建築が生み出された。

問8 下線部⑧に関連して、宗教改革に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

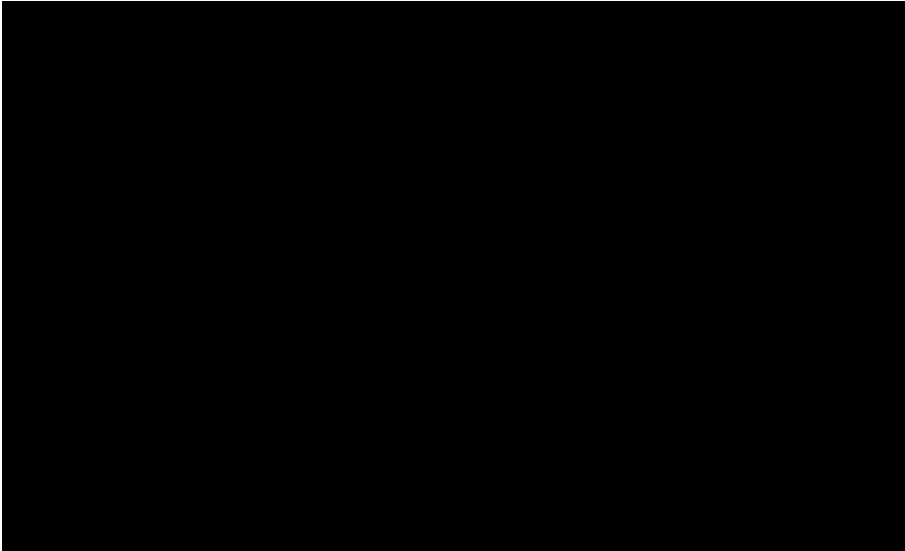
- (a) ドイツの神学者ルターは、サン=ピエトロ大聖堂改修のためにメディチ家出身の教皇が贖宥状を販売したことを批判した。
- (b) ルター派の諸侯や都市は、シュマルカルデン同盟を結んで神聖ローマ皇帝カール5世と争った。
- (c) スイスでは、チューリヒを拠点としてツヴィングリが、ジュネーヴを拠点としてカルヴァンが宗教改革を行った。
- (d) イギリスのヘンリ8世は教皇と決別し、首長法（国王至上法）を定めてイギリス国教会を成立させた。

問9 下線部⑨に関連して、シーア派に関する記述として正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) ベルベル人の支持を得て北アフリカのモロッコに樹立されたムワッヒド朝は、史上初のシーア派王朝とされる。
- (b) シーア派を奉じるイラン系の軍事政権であるサーマーン朝は、アッバース朝のカリフから大アミールの称号を得た。
- (c) チュニジアにおこったファーティマ朝はシーア派を信仰し、エジプトを征服してカイロを都とした。
- (d) セルジューク朝は主要都市に学院（マドラサ）を設立し、シーア派の学問の振興につとめた。

問10 下線部⑩に関連して、次の写真に関する記述として正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

※著作権の関係により、掲載ができません。



(出典：『詳説世界史』山川出版社，2024，p. 90)

- (a) 後ウマイヤ朝の都であるグラナダに建てられたアルハンブラ宮殿で、ステンドグラスによって装飾された。
- (b) 後ウマイヤ朝の都であるコルドバに建てられたメスキータとよばれる大モスクで、13世紀にはキリスト教の大聖堂に転用された。
- (c) ナスル朝の都であるグラナダに建てられたアルハンブラ宮殿で、ステンドグラスによって装飾された。
- (d) ナスル朝の都であるコルドバに建てられたメスキータとよばれる大モスクで、13世紀にはキリスト教の大聖堂に転用された。

問11 下線部①に関連して、イスラーム世界の拡大に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 西アフリカではガーナ王国の衰退後にイスラーム化が進展し、マリ王国やソンガイ王国の支配階級はイスラーム教徒であった。
- (b) 中央アジアではトルコ化とイスラーム化が進展し、10世紀半ばに中央アジア初のトルコ系イスラーム王朝となるカラハン朝が建てられた。
- (c) アフガニスタンを拠点としたガズナ朝やゴール朝は北インド侵攻を繰り返し、13世紀初めにはインド最初のイスラーム王朝となる奴隸王朝が成立した。
- (d) 東南アジアではマラッカ王国を拠点としてイスラーム化が進展し、ジャワ島ではイスラーム教国のアチェ王国が成立した。

## II 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(32点)

江南とは、狭義には江蘇省や浙江省など長江下流域の三角州地帯をいうが、広義には長江以南の地をさす。

新石器時代には、長江中・下流域で稲作が行われるようになり、長江下流域の河姆渡遺跡<sup>かぼ</sup>では、稲もみや骨製の農具などが発見された。帝位を得ようとして戦うことのためとして「中原に鹿を逐<sup>お</sup>う」という言葉があるように、古代の中国において政治の中心地は中原とよばれる華北平原一帯の地域で、江南一帯は後進地とされていた。戦国時代には、長江中流域を中心として楚<sup>①</sup>が栄えたが、西方の秦によって滅ぼされた。秦の滅亡後に成立した前漢の時代には、当初、統一以前の秦の領域では郡県制をとり、かつて秦が滅ぼした6国の地域では一族や功臣を諸侯王として封建する封建制が行われた。しかし、景帝が諸侯王抑圧策をとると、前154年に  が起こった。続く武帝の時代にも諸侯王抑圧策はとられて中央集権化が進められ、全国で実質的に郡県制に移行していった。後漢時代末期には、184年に起こった  をきっかけとして各地で群雄が割拠するようになった。220年に後漢は滅亡して中国は魏・呉・蜀の三国が分立する三国時代となり、江南は建業（現在の南京）を都とする呉によって支配された。呉の初代皇帝となった孫権は、江南の豪族の支持を得て国内の経営につとめたが、その死後は権力が豪族に移って国内が混乱し、280年に晋（西晋）に降伏した。こうして中国は再統一されたものの、匈奴の攻撃を受けて西晋が滅亡すると、華北では遊牧諸民族が興亡し、分裂状態となった。西晋の一族であった  は江南の建康（建業から改称）を都として317年に晋を再興した（東晋）。この時代には、戦乱が激しかった華北から江南へ多くの人々が移住し、水田の開拓が進められた。東晋滅亡後、江南には建康を都とする宋・齊・梁・陳の4王朝が興亡した。これらの4王朝は南朝とよばれる。また、建康（もとの建業）を都とした呉・東晋と南朝の6王朝は六朝とよばれ、貴族が主導する六朝文化<sup>②</sup>が栄えた。一方、華北は5世紀に北魏によって統一されたが、やがて東西に分裂し、東魏は北齊に、西魏は北周にとってかわられた。これらの華北の5王朝は北朝とよばれ、北朝と南朝が対立した時代を南北

朝時代という。この時代、朝鮮半島の諸国が南朝や北朝に朝貢使節を送ったほか、倭国（日本）の王も南朝にたびたび使節を送ったとされる（倭の五王）。

581年に大興城を都として建てられた隋は、南朝の陳を滅ぼして中国を再び統一した。隋は開発の進んでいた江南を華北と結びつけるために大運河の建設を始め、第2代皇帝の  の時代に完成した。隋の後をついだ唐が907年に滅亡すると、五代十国の分裂時代となった。短命な5王朝が続いた華北は戦場となって荒廃したが、華中・華南は比較的平和となり、各国が産業の育成につとめたことで江南はさらに発展していった。960年に成立した宋（北宋）は979年に中国統一を完成したが、11世紀にはキタイ（契丹）や西夏（大夏）といった北方諸民族に圧迫された。1126～27年の靖康の変によって北宋の都は陥落し、皇帝の  らは金へ連行された。皇帝の弟である  は江南に逃れ、臨安を都として宋を再興した（南宋）。南宋は金と和議を結び、淮河が国境とされた。以後、比較的平和が保たれ、江南の開発が進展するなど経済や文化が繁栄したが、元のクビライ（フビライ）によって南宋は滅ぼされることとなった。14世紀に入ると、疫病の流行や飢饉などによって社会が混乱し、紅巾の乱が起こった。この反乱の中から頭角を現した朱元璋（洪武帝）は、1368年に江南の南京を都として明を建て、元の残存勢力を北方に追いやった。明代には農業生産力が向上し、長江流域では稲作や家内制手工業が発展した。

明の滅亡後に中国全土を支配した清は、康熙帝・雍正帝・乾隆帝の時代にかけて繁栄期をむかえたが、19世紀に入るとイギリスなど列強と衝突するようになった。アヘン戦争後の南京条約によって開港された長江河口に位置する上海は、1845年に外国人居留地である租界が初めて開設され、列強の中国市場進出の拠点となった。中華民国の時代にも上海はさまざまな出来事の舞台となり、1921年には上海で中国共産党が結成され、1927年には反共クーデタの上海クーデタが起こった。

【設問Ⅰ】  ・  に入る適切な語句を選択肢(a)～(e)から1つずつ選  
びなさい。

- (a) 八王の乱
- (b) 三藩の乱
- (c) 呉楚七国の乱
- (d) 黄巢の乱
- (e) 黄巾の乱

【設問Ⅱ】  ・  に入る適切な人物名を選択肢(a)～(e)から1つずつ  
選びなさい。

- (a) 司馬炎
- (b) 司馬睿
- (c) 司馬遷
- (d) 煬帝
- (e) 文帝

【設問Ⅲ】  ・  に入る適切な人物名を選択肢(a)～(e)から1つずつ  
選びなさい。

- (a) 高宗
- (b) 太宗
- (c) 玄宗
- (d) 世宗
- (e) 欽宗

【設問Ⅳ】 下線部①～⑩に関する以下の問に答えなさい。

問1 下線部①に関連して、楚に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。

なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 諸子百家の一つである縦横家の蘇秦は、楚を含む6国を同盟させて秦に対抗しようとする合従策を説いた。
- (b) 漢代に編集された韻文集の『楚辞』には、楚の王族出身である屈原らの作品がまとめられた。
- (c) 春秋・戦国時代には青銅貨幣が用いられるようになり、楚では円形・方孔の五銖銭がおもに使用された。
- (d) 始皇帝の死後の混乱の中で、楚の名門出身の武将である項羽は農民出身の劉邦に敗北した。

問2 下線部②に関連して、六朝文化に関する記述として正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 四六駢儷体とよばれる華麗な形式を持つ文体が好まれ、韓愈（韓退之）や柳宗元などの文学者は古文の復興をとらえた。
- (b) 南朝の梁の皇太子である昭明太子は、古来のすぐれた詩文を集めた『文選』を編集した。
- (c) 絵画では「女史箴図」の作者とされる王羲之が、書では「蘭亭序」の作者とされる顧愷之が活躍した。
- (d) 詩では、「帰去来辞」を書いた田園詩人の陶潜（陶淵明）や、「詩仙」と称された李白らが活躍した。

問3 下線部③に関連して、朝鮮半島の国々に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 中国東北地方から朝鮮半島北部を支配した高句麗は、広開土王（好太王）の時代に最盛期を築いた。
- (b) 朝鮮半島西南部では百済が、朝鮮半島中南部では加耶（加羅）諸国が成立した。
- (c) 朝鮮半島東南部を支配した新羅は、楽浪郡を滅ぼして勢力を拡大し、7世紀後半に朝鮮半島を統一した。
- (d) 百済滅亡後、日本は百済復興のために軍隊を派遣したが、白村江の戦いで唐・新羅連合軍に敗北した。

問4 下線部④に関連して、北宋に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 節度使の実権を奪って皇帝に権力を集中し、科挙によって登用した文人官僚を重視する文治主義の政治を行った。
- (b) 佃戸とよばれる小作人に土地を耕作させた形勢戸とよばれる新興地主層の中には、科挙官僚を出す家もあった。
- (c) 国家財政がひっ迫すると、宰相に登用された王安石が新法とよばれる改革を断行したが、地主や大商人による反発を受けた。
- (d) 海上交易全般を管理する官庁である行商（公行）がおかれた広州や泉州、明州などの港市は、交易によって繁栄した。

問5 下線部⑤に関連して、金に関する記述として正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) ツングース系の女真（ジュシェン、ジュルチン）がキタイ（契丹）から自立し、完顔阿骨打が皇帝を称して金を建てた。
- (b) 五代の後晋の建国を援助し、燕雲十六州（河北・山西省の北部）を割譲させた。
- (c) 北方遊牧民最古の文字とされる女真文字をつくり、猛安・謀克とよばれる行政・軍事組織を遊牧・狩猟民に適用した。
- (d) 北宋を圧迫し、毎年多額の銀や絹を北宋が金に贈ることを内容とする澶淵の盟を結んだ。

問6 下線部⑥に関連して、宋代の江南の開発に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 「蘇湖（江浙）熟すれば天下足る」といわれるように、長江下流域が穀倉地帯の中心となった。
- (b) 江南では茶の栽培が盛んになり、周辺世界にも喫茶の風習が広がり、茶が重要な輸出品となった。
- (c) 低湿地や湖の干拓や開発が進められ、インドシナ半島から占城稻とよばれる日照りに強い稲が伝えられた。
- (d) 牛に犁をひかせる牛耕や、鉄製農具の使用が始まったことにより、農業生産力が向上した。

問7 下線部⑦に関連して、元に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。

なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) クビライ（フビライ）の遠征軍は、ベトナムの陳朝やチャンパー、ジャワ島などに派遣された。
- (b) 中央アジアや西アジア出身の人々は色目人とよばれ、財務官僚などとして活躍した。
- (c) モンゴル貴族層はチベット仏教を信仰し、チベット仏教の高僧のソンツェン＝ガンポはクビライ（フビライ）の国師となった。
- (d) モンゴル語でジャムチとよばれる駅伝制が整備され、人やモノの往来が活発となった。

問8 下線部⑧に関連して、明に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。

なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 朱元璋（洪武帝）は厳しい海禁政策をとり、台湾の鄭氏一族を降伏させて台湾を版図に加えた。
- (b) 都市では商工業が発展し、同郷出身者や同業の互助施設として会館・公所が建てられた。
- (c) 科学技術への関心が高まって実用的な学問である実学が発展し、李時珍の『本草綱目』や宋応星の『天工開物』などが刊行された。
- (d) 小説が普及し、『水滸伝』・『三国志演義』・『西遊記』・『金瓶梅』の四大奇書が完成した。

問9 下線部⑨に関連して、イギリスと中国に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) イギリスは外交官のマカートニーを中国に派遣して自由貿易を求めたが、乾隆帝によって拒否された。
- (b) アロー号事件を口実として、イギリスはフランスと連合して第2次アヘン戦争（アロー戦争）を起こした。
- (c) 国民政府は、イギリスとアメリカ合衆国の支援を得て幣制改革を行い、1930年代に法幣とよばれる統一通貨を流通させた。
- (d) 香港島はアヘン戦争後の南京条約によってイギリスに割譲されたが、1990年代に中国に返還された。

問10 下線部⑩に関連して、中国共産党に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 中国東北地方での権益を守るため、奉天派の張作霖が乗った列車を爆破して殺害した。
- (b) 国民政府の攻勢を受けて長征を開始し、江西省瑞金から陝西省延安に根拠地を定めた。
- (c) 盧溝橋事件をきっかけとして日中戦争が始まると、第2次国共合作によって抗日民族統一戦線を展開した。
- (d) 第二次世界大戦後に社会主義化を進め、「大躍進」運動を開始して農村に人民公社を設立した。

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(34点)

2025 大阪・関西万博や 2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会 (2021 年開催)、ラグビーワールドカップ 2019 など、近年の日本ではさまざまな国際的催し物が開催されている。

世界初となる万国博覧会は、イギリスの① ヴィクトリア女王の夫であるアルバート公の指揮によって、1851年にロンドンで開催された。主会場となった「水晶宮」(クリスタル=パレス)には、約30万枚ものガラス板と鉄骨が使用されるなど、② 産業革命によって「世界の工場」と称されるまでにいたったイギリスの圧倒的な工業力を世界に誇示した。初めて日本人が訪れた万国博覧会は、1862年の第2回ロンドン万国博覧会である。Aも参加し、その盛況ぶりを『西洋事情』に著した。19世紀後半の万国博覧会をリードしたのはフランスで、③ パリでは5回も万国博覧会が開催された(1855年, 1867年, 1878年, 1889年, 1900年)。1867年の第2回パリ万国博覧会には、幕府と薩摩、佐賀両藩も出展した。徳川慶喜の弟昭武とともに訪れた B はパリ滞在中に合本組織(株式会社)や金融の仕組みを調査研究し、のちに次々と会社を設立して「日本資本主義の父」といわれた。万国博覧会は、新しい技術や発明の発表の場ともなった。第2回パリ万国博覧会では、のちに狂犬病の予防接種に成功した C が、ワインの腐敗を防ぐ低温殺菌法を発表した。アメリカの発明家エディソンが発明した蓄音機は、1878年の第3回パリ万国博覧会で、白熱電球は1889年の第4回パリ万国博覧会で、④ アメリカ合衆国の独立100周年を記念して1876年に① フィラデルフィアで開催された万国博覧会では、アメリカの発明家 D が発明した電話が展示され、アメリカ合衆国がフランスから② ルイジアナを買収してから100年になるのを記念して1904年にセントルイスで開催された万国博覧会では飛行船や自動車が出展された。⑤ 日本初となる万国博覧会は、1970年に大阪で開催された。この日本万国博覧会(大阪万博)では、アメリカ合衆国の宇宙船アポロ11号が持ち帰った「月の石」や岡本太郎氏のデザインによる「太陽の塔」が評判をよび、183日間で6000万人以上の入場者を数えた。

スポーツを通じて国際的な交流をはかる国際オリンピック大会は、古代ギリシアで開催されたオリンピアの祭典に着想を得たものである。フランスのクーベルタンの提唱によって、1896年にギリシアのアテネで第1回大会が開催された。初期のオリンピックは万国博覧会の付属大会として扱われ、第2回のパリ大会（1900年）や第3回のセントルイス大会（1904年）は万国博覧会との同時開催となった。日本が初めてオリンピックに参加したのは第5回のストックホルム大会（1912年）で、2人の陸上選手が参加した。オリンピックは国威発揚の場として利用されることもあり、ナチ党政権下のドイツで1936年に開催された第11回のベルリン大会では、オリンピック史上初となる聖火リレーが行われた。また、このオリンピックの記録映画は、ヴェネツィア国際映画祭で最高賞を受賞する一方で、ヒトラーやナチ党を賛美するプロパガンダ映画であるという批判を受けた。第二次世界大戦後、東西陣営間で冷戦が展開されるようになると、オリンピックもその影響を受けるようになった。第二次世界大戦中にソ連と冬戦争を戦った  の首都では、1952年に第15回の大会が開催され、オリンピック初参加となったソ連など社会主義国が活躍した。1956年にオーストラリアで開かれた第16回のメルボルン大会では、直前にナチ政権下の  の首都で反ソ運動が起こり、水球の  対ソ連戦はラフプレーの応酬となった。1964年に開催された第18回の東京大会はアジア初の大会となり、広島に原子爆弾が投下された日に生まれた学生が最終聖火ランナーをつとめた。

「フットボール」の一種とされるラグビーは、19世紀前半のイギリスで始まったとされるが、その起源については諸説ある。ラグビーはヨーロッパをはじめ、イギリスの植民地となった地域に広がっていった。ラグビーワールドカップの歴史は比較的新しく、第1回大会はニュージーランドとオーストラリアの共催によって1987年に開催された。この大会ではニュージーランドが優勝したが、フィジーが8強に進むなど太平洋地域の国の活躍もみられた。長らく人種差別的隔離政策であるアパルトヘイトが進められたことから国際社会に非難された南アフリカ共和国は、アパルトヘイト撤廃後に国際社会に復帰し、第3回大会（1995年）の開催国となった。この大会で優勝した南アフリカ共和国は、新しい南アフリカ共和国を国際社会に印象づけることとなった。

【設問Ⅰ】  ・  に入る適切な人物名を選択肢(a)～(e)から1つずつ  
選びなさい。

- (a) 渋沢栄一
- (b) 豊田佐吉
- (c) 中江兆民
- (d) 福沢諭吉
- (e) 夏目漱石

【設問Ⅱ】  ・  に入る適切な人物名を選択肢(a)～(e)から1つずつ  
選びなさい。

- (a) モース（モールス）
- (b) パストゥール
- (c) ベル
- (d) マルコーニ
- (e) コッホ

【設問Ⅲ】  ・  に入る適切な国名を選択肢(a)～(e)から1つずつ選  
びなさい。なお、同じ記号には同じ国名が入る。

- (a) ポーランド
- (b) スウェーデン
- (c) ユーゴスラヴィア
- (d) ハンガリー
- (e) フィンランド

【設問Ⅳ】 波線部(i)「フィラデルフィア」と波線部(ii)「ルイジアナ（1803年にフランスから買収）」の正しい位置を，地図上のV～Yから選んで正しく組み合わせたものを1つ選びなさい。



- (a) フィラデルフィア—X      ルイジアナ（1803年にフランスから買収）—V
- (b) フィラデルフィア—X      ルイジアナ（1803年にフランスから買収）—W
- (c) フィラデルフィア—Y      ルイジアナ（1803年にフランスから買収）—V
- (d) フィラデルフィア—Y      ルイジアナ（1803年にフランスから買収）—W

【設問V】 下線部①～⑩に関する以下の問に答えなさい。

問1 下線部①に関連して、ヴィクトリア女王の時代に関する記述として正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 保守党のディズレーリと労働党のグラッドストーンが交互に政権を担当する典型的な議会政党政治が定着した。
- (b) 女性の権利が拡大し、第4回選挙法改正によって21歳以上の男性と30歳以上の女性に選挙権が認められた。
- (c) 軍人のウラービーが「エジプト人のためのエジプト」を掲げて起こしたウラービー運動を鎮圧して、エジプトを事実上の保護国とした。
- (d) イギリス（イングランド）とスコットランドと合併して、グレートブリテン王国が成立した。

問2 下線部②に関連して、産業革命の背景や影響に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) イギリスの毛織物業者の反対によってインド産綿織物の輸入が禁止されたが、綿織物の需要は衰えなかったため、綿工業の分野から技術革新が生まれた。
- (b) 第1次囲い込み（エンクロージャー）によって農地を失った農民は都市に流入し、工場労働者となった。
- (c) ワットによって改良された蒸気機関はさまざまな動力に応用され、フルトンが蒸気船を発明した。
- (d) 機械化が進んだことに対し、職人たちはラダイト運動（機械打ちこわし運動）を展開したが、政府によって鎮圧された。

問3 下線部③に関連して、19世紀後半にパリで開催された万国博覧会（年次は正しいものとする）に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 1855年のパリ万国博覧会は、クリミア戦争のさなかにナポレオン3世によって開催された。
- (b) 1878年のパリ万国博覧会は、ドイツ=フランス（独仏）戦争（プロイセン=フランス戦争）後に成立したパリ=コミューンによって開催された。
- (c) 1889年のパリ万国博覧会は、フランス革命100周年を記念して開催されたもので、エッフェル塔が建設された。
- (d) 1900年のパリ万国博覧会開催直前のフランスは、ドレフュス事件によって国内の世論が二分されていた。

問4 下線部④に関連して、アメリカ合衆国の独立から100年の間に起こった出来事に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) モンロー大統領はモンロー宣言を発し、アメリカ大陸とヨーロッパ諸国の相互干渉を表明した。
- (b) アメリカ=メキシコ戦争の結果獲得したカリフォルニアで金鉱が発見され、多くの移民が殺到した。
- (c) パナマをコロンビアから独立させて運河地帯を租借し、太平洋と大西洋（カリブ海）を結ぶパナマ運河を完成させた。
- (d) ホームステッド法（自営農地法）が制定され、公有地に5年間定住した開拓者に一定の土地を与えることが定められた。

問5 下線部⑤に関連して、1970年までに日本で起こった出来事に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 池田勇人内閣は「国民所得倍増計画」を閣議決定し、経済成長を促進する政策をとった。
- (b) 「三種の神器」とよばれる電気洗濯機・白黒テレビ・電気冷蔵庫の家庭電化製品が急速に普及した。
- (c) 名神高速道路や東名高速道路が開通し、東京・新大阪間に東海道新幹線が開業した。
- (d) 中曽根康弘内閣が行財政改革を推進し、電電公社（現在のNTT）や専売公社（現在のJT）などの民営化を断行した。

問6 下線部⑥に関連して、ナチ党の動きに関する記述として正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 国際連盟の管理下におかれていた炭鉱地帯であるルール地方を住民投票によってドイツに編入した。
- (b) スペイン内戦に際し、国際義勇軍とともに人民戦線政府側を支援してフランコ側と戦った。
- (c) エチオピアに侵攻して併合したことにより、国際連盟から経済制裁を受けると、国際連盟から脱退した。
- (d) ロカルノ条約を破棄して非武装地帯であるラインラントに軍隊を進駐させるなど、ヴェルサイユ体制の破壊を進めた。

問7 下線部⑦に関連して、第二次世界大戦後のソ連に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 対ソ干渉戦争や内戦に対処するため、農民からの食料徴発などを内容とする戦時共産主義を断行し、統制を強化した。
- (b) フルシチョフは、キューバ危機後にアメリカ合衆国・イギリスと部分的核実験禁止条約を結んだ。
- (c) プレジネフは制限主権論であるブレジネフ=ドクトリンを掲げ、チェコスロヴァキアに軍事介入を行った。
- (d) ゴルバチョフは「新思考外交」をとなえて中国との関係を正常化させ、アフガニスタンから撤退した。

問8 下線部⑧に関連して、ニュージーランドとオーストラリアに関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) イギリスは、植民地化に際してニュージーランドの先住民であるアボリジニーやオーストラリアの先住民であるマオリ人の抵抗を武力でおさえた。
- (b) オーストラリアは1901年に、ニュージーランドは1907年にイギリスの自治領となった。
- (c) イギリスは、ニュージーランドやオーストラリアなどの自治領と本国との関係を対等と認めるウェストミンスター憲章を制定した。
- (d) 第二次世界大戦後、アメリカ合衆国・オーストラリア・ニュージーランドの3国は太平洋安全保障条約（ANZUS）を結んだ。

問9 下線部⑨に関連して、太平洋地域の歴史に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) マリアナ諸島南端のグアムは、アメリカ=スペイン（米西）戦争の結果、スペインからアメリカ合衆国に割譲された。
- (b) 太平洋中央部に位置するハワイではカメハメハ朝がハワイ王国を樹立したが、19世紀後半に王政が打倒され、アメリカ合衆国に併合された。
- (c) ドイツは、19世紀にメラネシアのビスマルク諸島を獲得し、スペインからグアムを除くマリアナ諸島を買収した。
- (d) フランスは、19世紀に南太平洋南東部のタヒチやオーストラリア東方のニューカレドニアを植民地とした。

問10 下線部⑩に関連して、南アフリカの歴史に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) オランダ系移民の子孫であるブール人（アフリカーナー）は、南アフリカにオレンジ自由国とトランスヴァール共和国を建てた。
- (b) イギリス植民地相のネヴィル=チェンバレンは、帝国主義政策を推進して南アフリカ戦争を起こした。
- (c) 1910年にイギリスの自治領として南アフリカ連邦が成立し、第二次世界大戦後に共和国となってイギリス連邦から離脱した。
- (d) アフリカ民族会議（ANC）の指導者であったマンデラは、反アパルトヘイト運動を展開し、アパルトヘイト撤廃後に南アフリカ共和国の大統領に選出された。

